

# 藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。

## ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会名誉会長

市川市長 村越 祐民



このたび、4月より市川市長に就任させていただきました。

市川市芸術文化団体協議会の能村会長をはじめ会員の皆様におかれましては、長きにわたり本市の芸術文化の発展に多大なるご協力をたまわっておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、市川市は豊かな自然とともに、歴史・文化資産にも恵まれ、古くから文教都市として発展してきました。多くの芸術家や文化人が住まい、数々の作品の舞台にもなってきました。

現在も、多くの市民や団体が芸術文化活動に励まれていることが、本市の大きな特色にもなっております。

その中において貴協議会は、市民が身近に市の歴史や芸術文化に触れることができる機会を精力的にご提供いただき、中心的な役割を担って

いただいているところです。

私はこのような市民の活動を支援することは、生きがいや支援することであり、地域の活性化にもつながっていくものであると考えています。

そのため、活動拠点となっている公民館など集会施設の使用料については、活動の支援という観点も考慮し、使用料や減免制度のあり方についての検討を行っています。

市川市は無限の可能性に満ちた街であると考えています。私はこれまでのやり方にとらわれないこと、市民のみなさんの喜びにつながるような施策に取り組んでまいりますので、芸術文化関連の施策における貴協議会のご理解とご協力を引き続き賜りますようお願いいたします。



## 市民文化の醸成

市川市芸術文化団体協議会

会長 能村 研三

明治維新から一五〇年、そして平成最後の一年もいよいよカウントダ

ウンが始まった。

私たちの芸術文化団体協議会の前進の「市川文化会」は戦後間もなくの昭和二〇年に美術の藤野天光先生、音楽の村上正治先生たちの熱い思いの元に始まり、昭和四九年に市川市芸術文化団体協議会として発足し以来、昭和、平成の時代を生きぬき、いよいよ新しい時代を迎えようとしている。

しかし私達文化団体の取り巻く社会環境は決して容易なものではない。近年の人口減少、超高齢化が問題となっているが、私達の文化団体においても次の時代を担う若い世代の人材が不足しており、後継者の人材育成が急務となっている。こうした状況のため息を吐いて嘆いてばかりではいけない。

三年目となった「天空の文化祭」も私達の活動を市民にアピールするには、一定の成果を上げていこうと思われながら、この秋には全日警ホールで予定されている「文化集会」では、藤野、村上両先生が思い描いた市民文化の醸成の原点到ち戻り、市民に親しまれる文化を積極的に発信していきたい



## 市川市俳句協会からのお知らせ

市川市俳句協会 事務局長 町山 公孝

第七十回市川市市民俳句大会を十一月二十三日、全日警ホールで行います。市川市は有名な俳人が訪れて数々の有名な俳句を残しています。

市川市は全国的にも俳句が盛んな町といわれています。その証拠に市内には40を超す俳句会が、毎月市内の各所で行われています。市民俳句大会はその集大成であり、市民ばかりでなく全国からの投句があり、まさに俳句の腕比べともいべき大会です。

今年は第七十回という記念大会です。誰でも参加できます。募集要項は7月末から、市内の各公民館、文学ミュージアムなどに配置されていますから奮って応募してください。問合せは市川市俳句協会事務局まで。090-1649612193

## 第69回市川市市民俳句大会



「新春展」於：中央図書館

## 合唱で継ぐ音楽いっばいのまち

市川市合唱連盟 理事長 酒井 玄枝

市川市合唱連盟は1980年(昭和55年)3月に設立、第1回合唱祭を市民会館で開催、18団体が演奏しました。年々参加団体も増え第7回目を降は文化会館大ホールで2日間わたる開催となり、秋の文化芸術祭「市川市民合唱祭」としてすっかり定着致しました。市内小中学校合唱部の特別出演や葛飾区合唱連盟(平成24年締結の文化交流事業による)のゲスト参加により、年々大きな広がりです。今年独自に合唱祭となっています。

今年には特に第40回記念市川市民合唱祭として、11月10日(土)・11日(日)文化会館大ホールで開催致します。特に、長年(20回以上)合唱祭にご出演頂いた指導者の顕彰と特別イベントステージを企画、それぞれに練習も始まっています。ホールに響く様々な合唱が楽しみです。その他合唱連盟の事業は、うたの広場・合唱講習会・ジョイントコンサート・春のうたごえ(市川・第九)等と共に、振興財団や市川交響楽団との共演で合唱を通して様々な世代との交流は、広く地域文化振興の一役を担っています。

芸文協の加盟団体として、様々なコラボレーションで合唱の可能性をさらに広げられたらと願っています。



第39回市川市民合唱祭

## 昭和二十六年に結成

市川市花道協会 理事長 倉持 理純

市川市花道協会は日本の伝統文化であるいけばなを研究(又は探求)する会員が集まって昭和二十六年に結成されました。

花道協会では日頃からいけばなを見ることよって心の豊かさそして安らぎを得られるお手伝いができます事を願っております。また生ける方々の思いも様々ですが、いけばなの世界を伝承できます事をうれしく思います。また「子供コーナー」も大変好評をいただいております。

七十四回になるいけばな展は平成三十一年三月十六日(土)から十八日(月)まで(市川市文化会館)の地下大会議室・展示室で開催されます。また、会員相互の親睦を図る目的の新年懇親会を平成三十一年二月三日に市川の栃木家で開かれます。又四月にはバス研修旅行を、なお定期総会は五月に予定しております。その他、各流派による花道展をデパート等に品出。会員の募集は随時おこなっております。連絡先市川市花道協会 電話 〇四七―三七〇―三三六〇八



花道協会バス研修

## 市川オペラ振興会

市川オペラ振興会 理事長 木村 珠美

市川オペラ振興会は、市川市に上質なオペラをお届けできたら、という思いで立ち上げまして、今年37周年を迎えました。また、チレア作曲、オペラ「アドリアーナ・ルクヴール」は、1992年に、日本人初演を果たし、新聞等で素晴らしいご批評を賜りました。そして、2014年に、再演され、公演は大変好評をいただきました。その後、ブッチーニ作曲の第1作品である、「妖精ヴィッリ」を再演いたしました。そして、ブッチーニ第2作品オペラ「エドガール」は、アジア初演となり、ブッチーニ作曲オペラ「つばめ」は、日本初演となっております。市川オペラ振興会は、37年前にヴェルディ作曲オペラ「椿姫」を初めて上演致しましてから、ブッチーニ作曲「蝶々夫人」、「ジャンニスキッキ」、イタリヤより、極上のテノール、アントニオ・デ・パルマ氏を招聘して、レオンカヴァッロ作曲「道化師」等々、イタリヤオペラを中心に公演を重ねておりますが、市川交響楽団と共演により、モーツァルト作曲「魔笛」、日本のオペラ青嶋広志作曲「黒蜥蜴」他等々、上演を重ね好評を博しております。昨年は、チェコの代表的な作曲家である、ドヴォルザーク作曲オペラ「ルサルカ」が、日本人による初演となり、大変好評の公演となりました。

さて、2018年の今年も、皆さまがよくご存じのオペラ「カルメン」、「リゴレット」、「蝶々夫人」の3本をオムニバスで、花と散った三つの恋、と題しまして9月30日(日)午後2時より、文化会館小ホールでお届けいたします。どうぞ、ご来場くださいませ。

また来年、2019年6月2日には、文化会館大ホールで、「カヴァレリア・ルステイカーナ」の予定もご期待ください。

## 市川民話の会の活動です

市川民話の会 会長 高田 和正

「市川民話の会」は、市川に伝承されてきた民話を採話し、広げるために多くの市民のお宅を訪問することから始め、四〇年余りになります。それをもとに語りの会、著書の刊行の事業を続けてきました。わたしが初めて市川の民話を知ったのは、「真間の手児奈」、「いんねえのじゅえむどん」、「でえだらぼう」など数多くあります。その後民話を愛好する仲間が集まり、市内各地を回り採話をし、「市川の伝承民話」（市川市教育委員会発行）「市川のむかし話」予定しています。著書、語りにおいて下さい。（市川民話の会刊行）を刊行するに至り、市民に広めました。市民団体と共同の活動として「すがの会」「根っ子の会」「和の会」と連携した文化祭を共催、小学校・中学校、公民館等での語りの活動、新たに文学ミュージアム、市川市広報広聴課主催の行事、ケーブルテレビ制作に協力しました。



学校での語りの活動

今年は一〇月一三日、市民会館での事業を予定しています。多くの方において頂きたいと思っています。

## 市川市洋舞踊協会の活動

市川市洋舞踊協会 会長 荒木 洋子

昭和57年に創設し、昨年設立50周年を迎えました。昭和57年に第一回合同公演を行い以後、毎年洋舞踊合同公演を行っており、現在、6団体で活動しています。第30回公演では市川交響楽団とのジョイントコンサートで「パリの喜び」を上演いたしました。

第31回「つるの恩返し」、第32回「シンデレラ」、第33回「ガーシュインの世界」、第34回「四季〜春・夏・秋・冬」、第35回「市川市洋舞踊合同公演」（平成30年3月）では、市川市交響楽団とジョイントして「ミュージカルメドレー with 市川交響楽団」を上演しました。

次回の第36回公演（平成31年3月31日）は、創作合同作品「絵本の世界」を上演する予定です。



第35回市川市洋舞踊合同公演

## 市川市写真連盟のご紹介

市川市写真連盟 会長 佐久間英治

◎目的 平成元年に市川市内で活動している写真サークル5団体が集まり、写真に関する情報の共有化に努め、写真制作の研修、会員相互の親睦を計り、市川市内の芸術文化の発展に寄与することを目的としている。

◎事業 平成元年より毎年6月に市川市文化スポーツ部と共催で市川市文化会館に於いて一般公募の写真展を開催しており、本年は第30回を6月17日から24日まで開催し、延べ929人の来場者で賑わいました。また千葉商科大学、県立行徳高等学校から11名の参加もあり、参加者の平均年齢を下げられました。

また、（公財）市川市文化振興財団主催の市川市文化会館2階無料休憩所に於ける写真展（平成31年3月31日まで常時開催）に写真を提供し（市川写友会担当）協力させていただいております。現在の連盟の参加サークルは以下の通りで、会員数は104名です。

市川写友会 佐久間 英治  
連絡先090-7702-11910  
行徳カメラクラブ 重光 豊彦  
連絡先090-2313-5846  
フォト鬼高 鈴木 信雄  
連絡先090-2212-13277  
フォトレッドローズ 浦山 修 連  
連絡先0471-344-3230  
フォトじゅんさい 松本 行雄  
連絡先090-8057-12875  
※サークル参加や問い合わせは、各サークルの連絡先をお願いします。

## 市川市手工芸連盟・つなぐ心

市川市手工芸連盟 理事長 牧野ミサホ

手工芸の普及と生活文化の向上を目指すと共に、交流を深めながら地域活動の輪を次世代に繋ぐ目的のもと、手の中に込められる創造したデザインやアイデアを、魅力ある創作作品の発表できる場として、第二十八回市川市手工芸公募展を、9月に開催致します。会場では2日間ワークショップを行い、お子様から多くの市民の方に体験していただけるよう、沢山のジャンルをご用意し、皆様をお待ちしております。

また11月には手工芸連盟による展示即売会を、市川市八幡4丁目「フリースペース圓」にて開催致します。

クリエイティブな技術を駆使し、ご来場くださる方が、心ときめく作品に出会い、そして自ら習いたい心が芽生える事も大切にしてあります。これからも芸術発展の為に万里一空で向かう所存でございます。



市川市手工芸公募展

## 地域の中に市川市芸能協会

市川市芸能協会 会長 稲葉 健二

市川市芸能協会が設立されて3年目を迎える今年も合同イベントとして、10月28日(日)に八幡市民会館(全日警ホール)で第3回「八幡芸能祭」を開催致します。より地域に密着したイベントとして、地域の自治会の皆様の協力で進めさせて頂いています。地域の老若男女の皆様が、会場で交流ができるように声をかけさせて頂いています。

舞踊系で4団体、カラオケ、かつぽれ、お囃子、銭太鼓、和太鼓と芸能でもジャンルの幅ひろさが特徴です。気軽にのぞいてみませんか？

メンバーを紹介させて頂きますと、カラオケの「市川カラオケ連合会」、お囃子の「八幡囃子保存会」、和太鼓の「八幡下町ゆうづる太鼓」、日本舞踊の「華実会」、新舞踊の「八幡下町踊り同好会」、創作日舞の「千翠会」、かつぽれの「光江流かつぽれ市川道場」、銭太鼓の「はなみずき会」、歌謡舞踊の「花秀会」です。これからも、お互いの芸の良さを認め合い、共に進んでいけるように頑張つてまいります。



第2回八幡芸能祭

## 輪の輪工芸美術会

輪の輪工芸美術会 田草川 信慈

輪の輪工芸美術会は、新鮮で自由な創作を志す美術工芸家で作成する団体です。その種目は、伝統的な陶・木・金・染織・紙・竹・人形などの他、皮革・ガラス・タイル・樹脂等の新素材・絵画・造形など多彩です。活動は、当会主催の「輪の輪展」「ユニバーサルチャリティ・輪の輪会員展」開催をはじめ、芸文協主催の「文化集会」「天空の文化祭」等に参加しています。また、各分野の技法などを紹介する「研究会」や「研修旅行」「会員のグループ展」などを実施しています。

今年の公募第32回輪の輪展は10月13日(土)～17日(水)に文化会館地下展示室で開催します。審査は会員全員の無記名投票で公平に行い、一般応募者5名以内に奨励賞(副賞2万円)を授与します。

当会は、自らの創作活動の充実と発表機会の積極的な提供により、創作者と鑑賞者の底上げを図りたいと考えています。それにより、文化都市市川の実現に少しでも寄与することを願っています。一緒に活動する美術工芸家を募集していますので、ぜひご連絡をいただきますようお願いいたします。



昨年度の第31回輪の輪展の様子

## 芸術と平和

芳香社 林 美和

日本文化である墨と筆と和紙に親しみ、楽しく絵を描くこと。

芳香社は、主宰池田蘭径先生を中心に60名の会員が活動している団体です。現代水墨・墨彩画を通じて、日本芸術を異世代・異文化の方々にも広く親しんで頂きたい。文化を通じて世界平和に貢献したいと思っています。

9月以降平成30年の事業としては、10月17日～22日まで日本自由画壇秋季展を東京都美術館にて開催します。9月、11月はスケッチ旅行を予定しています。

通年、国立新美術館・市川文化会館・市内各公民館・東京都美術館・アイリソクタウンに発表していましたが、芸文協参加団体として更に活動の場が広がりました。

教室は、アトリエ香蘭社はじめ市内公民館等で開催していますので、入会希望の方はご連絡ください。

連絡先080-6704-4772

事務担当 林



## 着物を通して文化交流

装道礼法きもの学院 市斎部長 工藤エミ子

平成30年2月、芸術文化団体協議会の行事「天空の文化祭」に初参加させて頂き、「帯で結ぶ花々の装い」を展示いたしました。

また、装道礼法きもの学院千葉県認可連盟の年間行事の一つに参加しました。この行事は、日本の玄関先である成田空港で、「和の文化」を紹介するものでした。着物の展示はもちろんですが、着物の着装、子供達は、羽織袴で刀を持って「さむらい」を演じたり、女子は振袖で記念撮影と、大いに楽しんで頂きました。海外にも、その模様が紹介され、「着物を通して文化交流の一役を担っている」と自負しています。今後は、舞台上「帯の花結び」を上演して、皆様に、ご紹介したいと思っております。



## 市川交響楽団協会

市川市交響楽団協会 副理事長 星 乗昭

”市川交響楽団協会”は市川混声合唱団、市川交響楽団、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラ、行徳混声合唱団の5つの演奏団体に市響ジュニアオーケストラ育成会を加えた6つの団体が構成されております。

平成30年の主な定期演奏会は3月3日の第399回市川交響吹奏楽団、そして記念すべき第400回には、5月5日に市響ジュニアオーケストラがマーラー作曲交響曲第5番他を演奏しました。7月8日の第401回市川交響楽団は85分に及ぶ大曲であり、難曲であるマーラー作曲交響曲第9番を演奏しました。これから9月9日市川交響吹奏楽団が「市吹秋のコンサート」、10月14日市川混声合唱団、行徳混声合唱団による「合唱の集い」、そして12月9日「ファミリー交響楽コンサート」では久々にコベーターベン作曲交響曲第5番「運命」他を演奏します。



## 宗左近・蕊の会

宗左近・蕊の会 伊東美佐子

「宗左近・蕊の会」は、宗左近氏没後10年記念(2016年)として里見公園内に詩碑を建立し、市川市へ寄贈するため発会した「宗左近詩碑建立の会」を改名した民間団体です。詩人、翻訳家、美術評論家として活躍した宗氏は、1978年から市川市に住み、市川名誉市民でもありました。

本年度より芸文協活動に参加する機会を頂き、加盟団体のみなさまと共に市川市での文化活動の一員として努めて参りたいと存じます。

9月の文化集会在最初の活動となりましたが、宗左近氏が生前、市川市で精力的に文化活動に尽力されたことを、多くのみなさまにお伝えしたいと思えます。

また、来年は、宗左近氏生誕百年の年となりますので、記念企画を計画中です。「宗左近・蕊の会」へご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。



市川市名誉市民 宗左近氏

## サポート会員を募集しています!

市川市芸術文化団体協議会(通称:芸文協)は、昭和49年に、「文化都市いちかわ」の芸術文化振興の中核を担うべく、設立されました。以来市川市の文化芸術の原動力となり、市民の皆様と共に文化振興の一役を担って参りました。

加盟団体間の連携、情報共有をはじめ、芸術文化の振興のための事業を行っています。「文化集会」「天空の文化祭」を開催するとともに、加盟団体同士でコラボして、新しい芸術文化を進めています。今後のさらなる発展に向けて、より多くの皆様のご協力を頂きたいと思っております。

加盟団体の所属に関わらず、「個人維持会員」として、芸術文化を応援して頂けましたら嬉しく思います。

**個人サポート年会費1口2000円(何口でも可)**

※御協力頂けます方は、下記の事務局まで、御連絡を頂けましたら幸いです。

### 市川市芸術文化団体協議会 加盟団体

市川市花道協会	市川交響楽団協会
市川民話の会	市川市合唱連盟
市川市洋舞踊協会	市川オペラ振興会
市川市手工芸連盟	市川市写真連盟
市川市俳句協会	市川市芸能協会
輪の輪工芸美術会	芳香社
装道礼法きもの学院千葉県認可連盟市川支部	
宗左近・蕊の会	

### 編集・発行

市川市芸術文化団体協議会

### 事務局

〒272-0021 市川市八幡 4-9-17

酒井玄枝方 TEL047-334-7832

HP <http://www.geibun.org>

## 天空の文化祭 2019



市川市芸術文化団体協議会加盟団体による展示と公演

**平成31年2月15日(金)**  
**~17日(日)**

**アイリンクタワーウェスト 45階展望室**

**地上45階での、芸文協加盟団体の、展示や公演と市川市が誇る眺望をお楽しみ下さい!!**

(詳細は後日お知らせ致します)

# 第25回芸術文化集会

## 平成30年9月24日(月)～30日(日)

### 八幡市民会館(全日警ホール)

かたり  
“語”

新装となった旧市民会館の地に芸術文化集会が戻ってきました。今年度の開催テーマ「語」を基に加盟する各団体が企画した展示と公演、ワークショップ(実技指導)にご期待下さい。

## 作品展示：9月24日(月)～30日(日)

### 10:00～16:00(9月25日休館)

## ホール公演：9月30日(日)

### 開場 11:30 開演 12:00～16:00

## 入場無料

#### < 展示部門・第2展示室他 >

##### 市川市俳句協会

市川市俳句協会の役員による、文化集会のテーマ「語」を組み込んだ俳句競作の展示。花道協会とのコラボも。

##### 市川市写真連盟

市川市写真連盟会員の作品の展示。市川オペラ振興会とのコラボ展示もあります。写真の心に語りかけます。

##### 芳香社

展示会場やワークショップで、ご来場の皆様と美しいものや文化について語り合い、平和を共有していきたいと思ひます。

##### 宗左近・蕊の会

宗左近氏が生前、市川市で精力的に文化活動に尽力されたことを、(宗左近を語る)として皆様にお伝えしたいと思ひます。

##### 市川市手工芸連盟

会員が心を込めてつくった、手の中に込められる創造した、デザインやアイデアを、魅力ある創作作品の発表で「語」ます。

##### 市川市花道協会

いけ花と向き合ってみませんか?一輪の花を手に、自分の心に「語」って花を挿す。その瞬間(と)は何事にも代え難い時間です。

##### 輪の輪工芸美術会

工芸・美術分野の作家による公募団体です。公募展を中心に創作者と鑑賞者のより豊かな「語」や親睦融和を目指しています。

#### < ワークショップ・第3会議室 >

##### 市川市手工芸連盟

9月30日(日)10:00～16:00

カバン工芸・ビーズ手芸・押し花・布手芸の制作体験

##### 装道礼法きもの学院

9月30日(日)15:00～16:00

半巾帯で花結びのパフォーマンス

##### 芳香社

9月30日(日)11:00～16:00

水墨画の体験製作

※各ワークショップごとに、参加の費用や方法が違います。会場でお確かめ下さい。

※各部門の詳細は裏面をご覧ください。

主催：市川市芸術文化団体協議会(加盟14団体)

共催：市川市 後援：(公財)市川市文化振興財団・市川市教育委員会

協賛：山崎製パン(株)、塚本建材(株)、(株)全日警、新樹の会

問い合わせ：実行委員会(酒井)047-334-7832 E-MALE main@ichikyo.org

#### < 公演部門・ホール >

##### 市川市合唱連盟

合唱は、歌詞(語)にメロディーがついて人の心に届きます。「うたのひろば」で共に歌い合唱の楽しさを体感して下さい!

##### 市川市洋舞踊協会

クラシックバレエ、モダンバレエ、ジャズダンスのジャンルを超えた舞踊による語り。

##### 装道礼法きもの学院

美しい「きもの」の帯を、現代的に各国の花を華やかに表現し、皆様方に「語」れるように楽しんで頂きたいと思ひます。

##### 市響

音楽では、メロディ、ハーモニー、リズムである音楽の三要素を融合して聴く方々に「語り」かけます。

##### 市川市芸能協会

八幡囃子保存会(お囃子)、千草会(創作日舞)、光江流かつぼれ(かつぼれ)八幡下町ゆづる太鼓(和太鼓)による音と演で心に「語」。

特別企画

##### お茶席

和心会 佐藤宗和

11:00～(2階)

お茶席を無料致します。(数限定)

協力：市川市国際交流協会